

【情報公開文書】

作成日2026年8月15日

(最終更新日20 年 月 日)

受付番号： I2026-189

課題名：新生児における、観血的血圧測定と非観血的血圧測定の測定値の差の検討

1. 研究の対象

東京科学大学 NICU に 2013 年 4 月～2026 年 5 月に入院をし、観血的血圧測定を受けられた方
川口市立医療センターNICU に 2017 年 8 月～2026 年 5 月に入院をし、観血的血圧測定を受けられた方

2. 研究期間

2026 年 8 月 26 日（研究実施許可日）～2030 年 3 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日： 2026 年 9 月 1 日

提供開始予定日： 該当なし

4. 研究目的

本研究では、過去に NICU に入院していた際に、観血的血圧測定を行い、データが残っているお子さんの、観血的血圧測定と非観血的血圧測定の数値の差を検討します。どの程度の差があり、どのような条件下で生じやすいかを明らかにすることで、NICU に入院する今後の新生児の血圧管理をよりの確に行えるようになることを目的としています。

5. 研究方法

観血的血圧測定（動脈内に留置した点滴からの血圧測定）と非観血的血圧測定（マンシェット、いわゆる血圧計を巻いて行う血圧測定）の血圧測定値の差を解析します。

電子カルテ上に残っている過去のデータを用います。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

血圧の値、血圧測定時の日齢、在胎週数、出生体重の情報を収集します。

7. 外部への試料・情報の提供

外部への情報提供はなく、該当しません。

8. 研究組織

東京科学大学 小児科 早田茉莉、石井卓

川口市立医療センター 新生児集中治療科 市川知則

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われえないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。本研究は科研費を用いて行われます。また研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、本学利益相反マネジメント委員会に対して研究者の利益相反状況に関する申告を行い、同委員会による確認を受けています。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：東京科学大学 小児科 早田茉莉

連絡先：03-3813-6111

hayata.m.c50c@m.isct.ac.jp

当院の研究責任者：東京科学大学小児科 早田茉莉

研究代表者：東京科学大学病院 小児科 早田茉莉

11. 苦情窓口

東京科学大学 研究推進部研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547（対応可能時間帯：平日9:00～17:00）